

PROGRAM NOTE

日本ふれあいの旅 <HCJBリスナーをたずねて・2012年>

「尾崎さんを囲む会 in 山形」を、2012年9月1日（土）山形市内のそば屋で開催しました。

この会は、ご多忙の尾崎さんに白石晋一さん（仙台市）が声をかけたところご快諾いただき、地元の伊藤慶彌さん（山形市、当日祝い事で欠席）、岩松幹夫さん（山形市）が準備をすすめて、開催となりました。

参加者は、遠いところは藤沢市の加藤信哉さんをはじめ、多賀城市的庄司薰さんや、仙台市の大森信夫さん、秋葉浩之さん、宮本研一さん、小山孝之さん、それに時田満雄（酒田市）でした。尾崎さんを含めて10名の参加となりました。

発起人を代表して白石さんから歓迎の挨拶、尾崎さんのご挨拶、そして参加者の自己紹介、尾崎さんの参加者へのインタビューへと進み、そのあとは、おいしい山形の芋煮、そばを食べながらの懇親会へとなりました。

HCJBの現在の放送内容や、庄司さんからは昨年3月11日の東日本大震災で被災をこうむった状況を、大森さんからは電力線搬送通信（PLC）の弊害について、加藤さんからはご自身が参加した昨年のEDXC2011の年次総会の状況、秋葉さんからは山形県の海岸での受信状況など、珍しい、そして面白い話題がいつまでも尽きませんでしたが、またの再会を願いながら散会したところです。

尾崎さんには遠いところをおいでいただき、誠にありがとうございました。

また、参加者の方々には、わざわざ山形までお越し頂き、ありがとうございます。

日本ふれあいの旅 スナップ種



この会の開催にあたり、ご苦労いただきました白石さん、伊藤さん、岩松さんに心から感謝いたします。またお会いしましょう。

（ときた みちお）

HCJB日本語放送の「関東地区リスナーの集い」は、9月16日午後1時半から東京淀橋教会において開催され、一時帰国中の尾崎一夫さんを初め、ゲストとリスナーなど約20名が出席しました。

淀橋教会からは、峯野龍弘先生が業務の合間を縫ってミーティングにお出でくださり、リスナーがHCJBの放送を熱心に聴いていることに対して、感謝の意を表されました。また、多忙な本来業務の他に、HCJB日本事務所を預かり、受信報告の返信業務などを担当してくださっている、新川代利子先生と中村恵先生も出席されました。

冒頭、尾崎さんから「遠くの声に耳を澄ませて」（宮下奈都著、新潮文庫）を紹介されると、続いて、ゲストの長岡絵利子さんが、そこに収められている「アンデスの声」と題するエッセイを朗読してくださいました。

長岡さんは、尾崎さんの住む米アリゾナ州ツーソンの日本人教会で活躍する傍ら、HCJB日本語放送の番組制作にも協力されている方で、彼女の明快で感情豊かな朗読は、劇場の舞台で聴いているかのような錯覚さえ覚えました。HCJB日本語放送のライブ放送をスタジオで聴いているようにも想われるものでした。

長岡さんの朗読を受けて、尾崎さんが "Book

Japan" のウェブサイトに掲載されている「遠くの声に耳を澄ませて」の著者である宮下奈都さんへのインタビューの中から、著者が語る「アンデスの声」に関するエピソードの一部を紹介されました。

"Book Japan" のサイトは次のとおりです：<http://bookjapan.jp/interview/090520/note090520.html>。あるいは、「Book Japan, 宮下奈都」をキーワードにして検索すれば、そのサイトにアクセスできます。

続いて、尾崎さんの紹介を受けて、特別ゲストのラファエル・ティンティンさんが、南米エクアドルの「アンデスの声」での日々を振り返り、その想い出を語ってくれました。ラファエルさんは、1990年代後半に7年間ほど、「アンデスの声」で番組制作に参画し、優しい、そして上品な日本語で多くのリスナーを魅了しました。

尾崎さんから「一番苦労したことは何ですか?」と質問されると、「ニュース原稿を作るのが大変だったけれども、尾崎先生ご夫妻が優しく添削指導してくださったので、苦労は全くありませんでした」と答えました。

恒例のリスナー・インタビューに入ると、出席者が各人の過去1年間のBCJライフを語りました。この模様は、尾崎さんが米アリゾナ州に戻ってから、今年11月以降に順次放送される予定です。

リスナー・インタビューが進むと、やがて尾崎さんが一人の女性に親しく語りかけました。出席者が「えっ!」と思ったのを察したかのように、尾崎さんは「アンデスの声で、お便りの返信業務を担当し、番組制作にも協力していただいた、いざみともこさんです」と紹介されました。ともこさんは、この日の午前、淀橋教会で行なわれた日曜礼拝に出席したところ、午後からHCJBリスナーの集いがあることを知り、出席したということです。エクアドルでの「アンデスの声」時代の想い出話を懐かしそうに披露してくれました。彼女は、「今週のハイライト」などを制作した他、受信報告には丁寧に返信してくれたので、彼女のことを覚えているリスナーも多いと思われます。

インタビューの後は、出席者が互いに席を譲り合い、久しぶりに再会した短波愛好者仲間と情報交換したり、初対面のリスナー同士が互いを紹介し合う場面も見られました。そして、最後は、集合写真を撮って、中締めとしました。

リスナーの集いに続き、淀橋教会の正面玄関広場では「音楽とメッセージ」の時間が設けられ、尾崎さんと多くのリスナーや教会関係者が参加しました。

(ほそや まさお)



『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫
毎週土曜日放送

10月 6日
10月13日
10月20日
10月27日

南米ふれあいの旅 ブラジル・クリチーバ市
梶村均次牧師 (連続四回)

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間午前7時半～8時
(米国アリゾナ制作／オーストラリア送信)

『バイブル・トーク』

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師
毎週日曜日放送

10月 7日	人生の道しるべソロモンの知恵の書 箴言29章
10月14日	人生の道しるべソロモンの知恵の書 箴言30章 (1)
10月21日	リスナーからの「お便り交換」の時間 淀橋教会収録
10月28日	人生の道しるべソロモンの知恵の書 箴言30章 (2)

放送周波数： 15525kHz 19mb

HCJB 日本語放送

新住所：HCJB (日本語放送) 5701 N INDIAN TRAIL TUCSON AZ 85750 USA